

Haze(ヘイズ/煙害)発生に関する注意喚起について(2015年9月25日)(更新部分は青字)
在シンガポール大使館

1. 現状

スマトラ島での焼畑によって生じるHAZE(ヘイズ/煙害)により、先週末から今週にかけて大気汚染の指数であるPSI(3時間平均)が、非常に不健康(Very Unhealthy)とされる数値を示しました。

9月14日午後9時には、3時間平均のPSIで249の値を観測し、被害が非常に酷かった一昨年に次ぐ値が観測されました。(参考:2013年6月:401(観測史上最高値))

19日以降は、PSIは、100前後の数値を示していましたが、23日午後より、数値が上昇し、24日午後7時には、313(3時間平均PSI)となり、今年初めて危険とされる数値(Hazardous:301~)を記録しました。25日に入って以降も高い数値で推移し、午前5時には今年の最高値341(同)を記録しました。

シンガポール政府は、このような状況は、しばらく続くと予測しております。

※最新のPSI濃度等については、以下のリンク先から確認ください。

○ PSI濃度及び濃度基準(シンガポール 国家環境庁(NEA)HP内)(英語)

<http://www.nea.gov.sg/psi/>

○ H a z e 関係FAQ(シンガポール国家環境庁(NEA)HP内)(英語)

<http://www.nea.gov.sg/anti-pollution-radiation-protection/air-pollution-control/psi/fags-on-psi>

2. 対策

シンガポール国家環境庁がホームページ上で公表している濃度をこまめに確認し、濃度に応じて(下記表参照)屋外活動を控える、マスクを着用するなどの対策をご検討ください。

併せて、当大使館が取りまとめた「Haze(ヘイズ)中に含まれるPM2.5の対策について」(下記リンク参照)には、ヘイズによる汚染物質への暴露を減らす上で有効な対策をとりまとめておりますので、ご参照下さい。

○ Haze(ヘイズ/煙害)発生に関する注意喚起(2015年7月公表)(大使館HP内)(日本語)

http://www.sg.emb-japan.go.jp/health_haze_16jul2015_j.pdf

○ Haze(ヘイズ)中に含まれるPM2.5の対策について(大使館HP内)(日本語)

[http://www.sg.emb-japan.go.jp/health_haze_4jul2013\(PM2-5\)_j.pdf](http://www.sg.emb-japan.go.jp/health_haze_4jul2013(PM2-5)_j.pdf)

3. 健康への被害(シンガポール保健省の発表)

シンガポール保健省のウェブサイトでは、健康への被害について、以下のように言及されています。

・健康な人は、数日間の短期間のヘイズ暴露であれば、一般的には、目、鼻、喉の刺激以外の重大な健康問題を引き起こすことはありません。

・慢性的な心臓疾患や肺疾患をお持ちの方や子どもや高齢者の方で、もし、体調の不調を感じた場合は、医療機関で診察を受けることをお勧めします。

○シンガポール保健省の発表(英語)

https://www.moh.gov.sg/content/moh_web/home/pressRoom/Current_Issues/2014/haze.html

4. 公立学校の対応（シンガポール教育省の発表）

ヘイズが生じた場合の学校運営方針（Haze Management Measure：下記リンク参照）に基づき、措置することとしております。 9月24日夜、教育省（MOE）は、ヘイズの被害状況から、翌25日の公立の幼稚園、小学校、中学校（Kindergardens, Primary and Secondary school）の休校を決定した。

上記方針によるP S I濃度別の措置は以下のとおり

（ア）P S I：100以下（NEAの基準：Good or Moderate）

通常の活動

（イ）P S I：101～200（同：Unhealthy）

- ・屋外活動を最小限にする。

- ・一時的に具合の悪い生徒、学校スタッフが生じたら、（病院に行く前に）空気清浄装置のある部屋に行き、様子を見る。併せて、保護者等に連絡する。

- ・肺や心臓に疾患のある生徒、体調がすぐれない生徒の全ての運動プログラムを免除する。

（ウ）P S I：201～300（同：Very Unhealthy）

- ・全ての運動プログラムを中止する。

- ・授業内容については適切に変更する。

- ・一時的に具合の悪い生徒、学校スタッフが生じたら、（病院に行く前に）空気清浄装置のある部屋に行き、様子を見る。併せて、保護者等に連絡する。

- ・肺や心臓に疾患のある生徒については、完全に屋内であるスペース（enclosed indoor space）に移動させる。

（エ）P S I：301以上（同：Hazard）

- ・学校の休校を検討。（前日のヘイズ予測（上記2.（1）ウ（ウ））で同レベルのP S I濃度が予想された場合）

（授業途中で同レベルに達した場合）

- ・授業を縮小する。

- ・全ての生徒を完全に屋内であるスペースに移動させる。

- ・一時的に具合の悪い生徒、学校スタッフが生じたら、（病院に行く前に）空気清浄装置のある部屋に行き、様子を見る。併せて、保護者等に連絡する。

※ 日本人学校の基準については、上記とは、異なります。

○公立学校向けガイドライン（Haze Management Measure）（シンガポール教育省HP内）（英語）

<http://www.moe.gov.sg/haze/>

5. 職場の対策（人材開発省の発表）

ヘイズ影響から労働者を守るためのガイドライン（下記リンク参照）を作成・公表している。

なお、9月24日にP S Iが危険とされる数値を示した際には、職場の閉鎖はしない（no national shut-down of workplaces）ことを発表した。

上記ガイドラインの主な項目は以下のとおり

（ア）必要な備品の準備

(イ) 適切な保護具の提供

(ウ) P S I 濃度別の屋外作業の制限基準

○ 雇用主向けガイドライン (Guidelines for employers on protecting employees from the effect of haze) (人材開発省HP内) (英語)

<http://www.mom.gov.sg/haze/guidelines-on-protecting-employees-from-haze>

○表 (PSI の数値と健康被害) (シンガポール国家環境庁 (NEA) 公表)

PSIの数値	健康被害状況
50以下	(良好: Good) 一般的に影響なし
100以下	(適度: Moderate) 一般的に影響なし
101~200	(不健康: Unhealthy) 一般的な人は、継続的(数時間続くような)または激しい屋外活動を減らすこと。子供、高齢者は、継続的または激しい屋外活動を最小限にすること。心肺に関する持病のある人は、継続的または激しい屋外活動を避けること。
201~300	(非常に不健康: Very Unhealthy) 一般的な人は、継続的または激しい屋外活動を極力避けること。子供、高齢者は、屋外活動を最小限にすること。心肺に関する持病のある人は、屋外活動を力避けること。
301超	(危険: Hazardous) 一般的な人は、屋外活動を最小限にすること。子供、高齢者、心肺に関する持病のある人は、屋外活動を避けること。